

令和3年度久留米市社会福祉協議会事業報告

新型コロナウイルス感染症による活動の自粛は、社会福祉協議会が推進してきた地域福祉活動に多大な影響を及ぼすこととなりました。

対面型の活動や様々な住民を対象とした事業は、感染の拡大を防止するため、実施が困難となりました。また、何度も期間が延長された特例貸付は久留米市の決定件数が延1万件を超えました。

市民生活における経済的・社会的困窮が拡大しており、新しい生活様式に対応した地域福祉のあり方、複数の生活課題を抱える世帯についての継続的な支援などが求められました。

こうしたなか、令和3年度は、基本方針を、(1)あらゆる生活課題への対応、(2)地域のつながりの再構築、(3)地域から信頼される組織づくりと定め、合計10項目の主要事業、事務局体制に関する取組、財源に関する取組を中心に活動を進めました。

また、久留米市より、新たに多機関協働事業とアウトリーチ事業を受託し、断らない相談支援や伴走支援などの新たなニーズへの対応を開始しました。

さらに、成年後見制度の利用促進のための中核機関の一部機能を担い、後見人支援等の新たな役割に取り組みました。

なお、昨年度に引き続き、豪雨災害被災者に対する災害ボランティアセンターの運営や生活困窮世帯等に対する食糧支援事業など、多くの市民や支援団体等と協力して取り組みました。

令和3年度の事業実施状況は以下のとおりです。

I. 主要事業

(1) 地域福祉活動の推進支援

●「くるめ支え合うプラン」の地域展開

各コミュニティ組織や校区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、支え合い推進会議等に対し、校区福祉活動計画策定に向けた働きかけを行いました。

校区社会福祉協議会のみで策定にとどまらず、支え合い推進会議に意見を求める校区や、計画策定委員会や計画検討会議等を設置した校区、支え合い推進会議で策定を進めた校区もありました。

また、社会福祉法の改正に伴う重層的支援体制整備事業に対応するため、「くるめ支え合うプラン」の一部改訂を行いました。

【実施状況】

実施項目	計画	実績
策定見直し支援	新規 18 校区 累計 28 校区	新規 8 校区 累計 17 校区（内、8 校区策定済）

●見守りや支援の対象者を広げる

校区社協やふれあいの会などが行う地域福祉活動について、地域のつながりが途切れないよう、感染に留意した活動の継続を促し、校区の実情に添った助言や支援を行いました。

ボランティアスクールや、支え合い推進会議が行う学習会等では、支援を必要とする人や世帯の現状と課題を共有し、見守りや支援の対象者が広がるよう、働きかけました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、いきいきサロンを昨年同様中止するなど各校区での地域活動が縮小傾向となる中、他校区の取り組みを知り、支援の対象者を広げてもらうための取り組みとして、地域福祉活動事例集を作成しました。

【実施状況】

実施項目	計画	実績
ボランティアスクール等の実施	各校区 2 回	(集計中：26 校区 53 回)
見守り訪問活動	延べ 248, 650 回	(集計中：5 月下旬予定)
いきいきサロンの設置数	335 か所	285 か所 (新規 3 か所)

●コミュニティ組織との新たなネットワーク化

支え合いの必要性や支え合い推進会議の意義を継続して校区コミュニティ組織を中心に説明を行い、新たに 1 校区に支え合い推進会議が設置されました。

各校区の支え合い推進会議で特色のある協議が展開され、その結果、日常生活を営む上で抱える困りごとを解決することを目的とした、生活支援活動団体が立ち上げられました。

また、市の広報（WEB コラム番外編）の活用や生活支援コーディネーターによる校区広報紙掲載の促進など、地域コミュニティ組織の取り組みを広く周知し、多くの地域住民に地域での福祉活動を伝えられるよう創意工夫を行いました。

【実施状況】

実施項目	計画	実績
新たな生活支援活動の立ち上げ	2 か所程度	4 校区 7 か所 (東国分 1・御井 4・ 安武 4・金島 1)

●興味や関心事を軸として集う市民グループとの連携

久留米 10 万人女子会等が企画した食料品の移動販売について相談を受け、希望する長門石の市営住宅で販売が行えるよう、地元の民生委員・児童委員さんの協力も得ながら、市住宅政策課担当者との繋ぎを支援しました。

●地域福祉を担う人材の育成

新型コロナウイルス感染症の影響から、事業の多くは実施の見合わせ、あるいは従来とは異なった形での実施となり、社会福祉大会は規模を縮小し、顕彰のみ行いました。また、ボランティアフェスティバルは、昨年度に引き続き、オンラインによる配信を行い、YouTube 上では 600 回以上（4 月 22 日現在）視聴されています。

校区社会福祉協議会等と学校が協働して行う福祉教育は、新たな取り組みの実施には至りませんでしたが、聴覚障害児との交流を通じて福祉学習に取り組み、中高生を対象としたボランティア体験講座を実施しました。

（2）相談・支援

●組織内の情報を支援活動に活かす

“重層的な支援体制の構築を考える会”では、日常生活自立支援事業について、久留米市生活自立支援センター、久留米市生活支援第 2 課を交え制度の学習や意見交換を行いました。

また、介護保険認定調査で訪問した世帯の福祉課題の解決に向け、個別支援による対応に繋がりました。

8 月に設置した災害ボランティアセンターの運営では、被災者の生活環境の回復に努めるとともに、あわせて福祉課題の発見と対応に努めました。

●継続的で柔軟な対応を行っていく

「複合・狭間」の課題解決に向け、関係機関、関係住民、当事者等が協議する場（重層的支援会議）を設け、ケースの状況共有や支援体制の構築に努めました。

また、生活困窮世帯や、ひきこもりの当事者や家族等で社会的な孤立を深めた人等で潜在的な相談者へ対するアウトリーチを行い、支援関係機関へ繋げることに努めました。

地域福祉課題の狭間にある人に対する支援を行うライフレスキュー久留米連絡会内に実行部会を立ち上げました。また、連絡会では各法人が地域等に提供できる社会資源をまとめた「地域資源 BOOK」を作成し、参加法人で共有するとともに、校区社協、校区コミュニティ組織、ボランティア団体等に配布し、活用を促しました。

【実施状況】

実施項目	計画	実績
重層的支援会議の開催	年 8 回	年 12 回
ライフレスキュー久留米 連絡会への参加法人	35 法人 (3 法人増)	登録 34 事業所 (28 法人)

※ライフレスキュー久留米連絡会については、令和 2 年度より登録制度を導入

●地域へのきめ細かな働きかけ

支え合い推進会議や校区社会福祉協議会役員会、ふれあいの会班長会、地区民生委員児童委員協議会など、住民同士の話し合いの場に参加し、情報共有、支え合う関係づくりの促進、課題解決に向けての支援などを行いました。

個別支援を自治会や校区社会福祉協議会、民生委員・児童委員等と協力して行い、課題を抱えながらも、要支援者が地域で安心して暮らしていくことができるよう働きかけを行いました。

【実施状況】

実施項目	計画	実績
個別支援計画の作成	15 件程度 ※災害時マイプラン含む	11 件

●要支援者の情報を速やかに把握する

通常の見守り訪問活動に加えて、電話や手紙での安否確認も呼びかけるなど、コロナ禍においても、つながりを絶やさないための働きかけを行いました。

近隣世帯の小さな変化から課題や困りごとに気づくことができる住民を増やすため、地域住民を対象とした学習会、研修会等を校区社協等とともに実施しました。

年間を通じて、担当コーディネーターは、住民同士の話し合いの場に参加し、地域や個別の世帯等の困りごとや課題の把握に努めました。

【実施状況】

実施項目	計画	実績
見守り訪問活動の普及 (ふれあいの会)	44 校区	44 校区
学習会の企画支援	各校区 2 回	26 校区 53 回 (再掲) (ボランティアスクールを含む)

(3) 権利擁護

●法人後見事業

安定した事業運営のため、経済的な理由で報酬が支払えない場合は、市の成年後見制度利用支援事業の補助金を利用し収入の確保に努めました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により面会や訪問が制限されている状況下において、本人に不利益が生じないよう関係機関と連携を図りながら臨機応変な対応を図りました。

【実施状況】

実施項目	計画	実績
受任件数	30 件	25 件 (うち年度内終了 5 件)

※利用支援事業補助金 (報酬補助) 利用数 2 件

●市民後見人の育成

市が主催する市民後見人活動支援事業を受託し、市民後見人候補者に対して必要な知識及び技術などの習得を目的にフォローアップ研修を実施しました。

また、市民後見人の単独受任を目指し、市とともに家庭裁判所と協議を行いました。

●中核機関業務の受託

市が成年後見制度の利用促進のために設置した中核機関の一部機能を受託し、後見人支援等の新たな役割に取り組みました。

また、成年後見センターの相談機能の充実と適正・効率的な運営に努めました。

【実施状況】

実施項目	計画	実績
センター相談件数	目標数値なし	651 件
センターによる 申立手続の支援	目標数値なし	71 件
受任調整会議（中核機関の 新たな業務）への参加	目標数値なし	3 回

●日常生活自立支援事業

利用契約者に対して、専門員 4 名にて適正適切な事業運営に努めました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により面会や訪問が制限されている状況下においても、適切な事業利用及び支援ができるよう関係機関との連携強化に努めました。

【実施状況】

実施項目	計画	実績
日常生活自立支援専門員	4 名（1 名増）	4 名
利用契約者数	目標数値なし	156 件 （新規 19 件、解約 24 件）

（4）在宅福祉サービス

●要介護認定調査業務の整理

新型コロナウイルス感染症の影響により、心身の状況に変化があった【区分変更】申請を中心に、介護認定調査業務を実施しました。

また退職による職員減での、今後の事業体制について、市と協議を行いました。

●介護保険事業経営の方向性の決定

事業経営の方向性について、現在の実施事業状況の分析を行い、他市社会福祉協議会の介護保険事業について情報収集に努めました。

また、地域内行事等への介護専門職員派遣や出前講座等の企画については、新型コロナウイルス感染症の影響により、最小限の実施となりました。

なお、通所介護事業では利用者3名より新型コロナウイルス感染症の報告がありました。保健所の指導を受け、館内の消毒を行うとともに、全利用者と職員を対象にPCR検査を実施した結果、他の感染者はなかったため、閉所は2日間のみでスムーズに事業再開できました。

【実施状況】

実施項目	計画	実績
介護専門職の地域内行事等への派遣	年7回	1回
出前講座・介護教室等の自主事業	年3回	1回

(5) 災害への対応

●災害ボランティアセンター運営と本会の業務執行体制の確保

新型コロナウイルス感染症の影響がある中、8月に発生した豪雨災害による災害ボランティアセンターの設置運営を行いました。

運営については、あらかじめ市と協議し、従事予定職員の事前ワクチン接種や、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（以下、「SNS」という。）を活用したボランティア事前登録など、新型コロナウイルス感染症の予防対策をおこないました。

また、多くの企業や大学等から人的な支援や資機材等の提供や物資等の運搬など、連携した取組を行いました。

なお、協定の締結については、現在締結している市との協定内容について、市民生活の回復のために必要な見直しについて協議を進めました。

●非常時の支え合い

訪問活動において、支援機関や地域住民へ見守りや支え合いの促進や周知活動を行いました。また、避難行動要支援者へ対して市や地域住民等を含む関係機関とともに災害時マイプランの作成を行いました。

【実施状況】

実施項目	計画	実績
避難行動要支援者支援プランの作成 (災害時マイプラン)	15件程度(再掲) ※個別支援計画含む	3件

(6) 情報の発信・広報

●計画的、効果的な広報

本会の運営方針や事業内容、関連団体と連携した活動などへの理解を深めてもらうために、広報紙「くるめ福祉」を計画的に年4回発行しました。

また、市民向け情報やサービス等のお知らせについては、「くるめ福祉」や「ホームページ」の活用のほか、チラシの作成、ツイッターやフェイスブックなど SNS も積極的に活用し、わかりやすく、活動に参加したくなるような広報活動に努めました。

さらに、生活支援体制整備事業や各校区の支え合い推進会議で展開されている内容を、若年層を含めた幅広い世代に周知するため、「つながるスイッチ!!」というタイトルで WEB サイト「note」等で7回情報発信しました。

【実施状況】

実施項目	計画	実績
Facebook、Twitter 等 への各課投稿	前年比 5%増	前年比 35%減
ホームページの閲覧者数 (月平均)	3,400 人	11,030 人

●積極的な情報公開

現況報告書や事業計画書、事業報告書などの法人情報や新型コロナウイルス感染症の影響による生活支援情報など、ホームページ等による円滑な提供を行いました。

また、災害ボランティアセンターに関する情報や校区社会福祉協議会連合会主催の地域防災に関する研修会など、テレビや新聞等のメディアを活用した情報発信を行いました。

II. 事務局体制に関する取組

(7) 組織

●企画・調整機能の強化

組織の調整機能として、職務の割り当てや他職員の指導育成に活用できる新たな人事評価制度を、令和4年度に向け試験的に導入しました。

●新たなニーズに対応した組織の見直し

新型コロナウイルス感染症の影響により相談が大幅に急増する中、久留米市より「多機関協働事業」と「アウトリーチ等を通じた継続的な支援事業」を受託し、断らない相談・支援や伴走支援などの新しいニーズに対応しました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により生活困窮となった世帯を対象とした生活福祉資金特例貸付の相談については、特例貸付専門の職員を配置し、相談者に寄り添った対応ができる体制を整備しました。

(8) 職員

●人材の育成

職員の目指すべき目標を明確にし、日々の業務と中長期的視点での取り組みができるように「人材育成基本方針」の策定に向けた検討を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響から、オンラインを活用した研修等を行いました。

(9) 事務事業

●事務事業の見直し

文書管理方法について職員間プロジェクトチームで検討した新たなファイル基準及び事務処理方法を導入しました。

また、急激な ICT 化に対応するため、クラウドを活用したファイル管理やオンライン会議の実施、職員間の情報共有のためのグループウェアを導入しました。

Ⅲ. 財源に関する取組

(10) 財源の確保・活用

●公募事業への参画

指定管理施設（総合福祉会館、田主丸老人福祉センター、三潁総合福祉センター）について、効率的な運営による収益の改善を図りましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による閉館が続き、利用者・収益が低迷しました。

●自主財源の確保

地域住民に対し、本会の活動に対する理解促進を図りながら、より一層の支援を呼びかけました。

また、昨年に引き続き、企業による社会福祉法人への減免制度を利用しました。

【附属明細書】

(1) 法人の運営

○理事会・評議員会等開催状況

区 分	期 日	内 容
理事会 (決議の省略による)	4月1日	提案事項1 理事の選任について 提案事項2 評議員会の決議の省略について
評議員会 (決議の省略による)	4月1日	提案事項1 理事の選任について
監 査	5月20日	令和2年度における理事の業務執行状況及び財産の状況について
理事会 (決議の省略による)	5月28日	提案事項1 令和2年度社会福祉法人久留米市社会福祉協議会事業報告及び決算について 提案事項2 令和3年度社会福祉法人久留米市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号)(案)について 提案事項3 評議員選任・解任委員会委員の選任について 提案事項4 評議員選任候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会の開催について 提案事項5 次期役員候補者について 提案事項6 評議員会の招集について
評議員選任・解任委員会	6月10日	第1号議案 評議員の選任について
評議員会 (決議の省略による)	6月25日	提案事項1 令和2年度社会福祉法人久留米市社会福祉協議会事業報告及び決算について 提案事項2 令和3年度社会福祉法人久留米市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号)(案)について 提案事項3 次期理事の選任について 提案事項4 次期監事の選任について
理事会 (決議の省略による)	6月25日	提案事項1 会長、副会長及び常務理事の選任について

区 分	期 日	内 容
理事会 (決議の省略による)	9月27日	提案事項1 令和3年度社会福祉法人久留米市社会福祉協議会資金収支補正予算(第2号)(案)について 提案事項2 理事候補者について 提案事項3 評議員会の決議の省略について
評議員会 (決議の省略による)	10月4日	提案事項1 令和3年度社会福祉法人久留米市社会福祉協議会資金収支補正予算(第2号)(案)について 提案事項2 理事の選任について
広報委員会	3月2日	委員長及び副委員長の選任について 令和3年度広報事業報告について 令和4年度広報事業計画(案)について
運営委員会	3月2日	委員長及び副委員長の選任について 令和4年度事業計画(案)・予算(案)について
理事会	3月23日	第1号議案 令和4年度社会福祉法人久留米市社会福祉協議会事業計画(案)及び資金収支予算(案)について 第2号議案 令和4年度役員等賠償責任保険契約について 第3号議案 評議員会の開催について
理事会 (決議の省略による)	3月25日	提案事項1 理事候補者について
評議員会	3月29日	提案事項1 令和4年度社会福祉法人久留米市社会福祉協議会事業計画及び資金収支予算について 提案事項2 理事の選任について

○社会福祉事業に関する寄付金状況（物品寄贈含む）

（単位：件、円）

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
5万円未満	件 数	23	29	20	15
	寄付金計	348,126	551,887	368,960	272,668
5万円以上10万円未満	件 数	5	6	5	7
	寄付金計	250,000	305,080	284,898	364,020
10万円以上20万円未満	件 数	5	6	8	5
	寄付金計	500,000	600,000	946,184	500,000
20万円以上30万円未満	件 数	0	0	0	0
	寄付金計	0	0	0	0
30万円以上40万円未満	件 数	0	0	2	2
	寄付金計	0	0	722,241	610,000
40万円以上50万円未満	件 数	0	0	1	0
	寄付金計	0	0	450,000	0
50万円以上100万円未満	件 数	0	0	1	1
	寄付金計	0	0	500,000	500,000
100万円以上	件 数	2	1	2	2
	寄付金計	4,500,000	1,000,000	72,232,992	3,300,000
合 計	件 数	35	42	39	32
	寄付金計	5,598,126	2,456,967	75,505,275	5,546,688

○社協会員制度状況

（単位：件、口、円）

区 分			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
正会員	年額 3,000円	加入数	58	48	48	48
		加入口数	67	48	48	48
		金額(小計)	201,000	144,000	144,000	144,000
賛助会員	個人会員 1口1,000円	加入数	88	137	136	127
		加入口数	136	219	197.0	203
		金額	136,000	218,500	197,000	203,000
	法人会員 1口5,000円	加入数	4	4	4	2
		加入口数	4	4	4	2
		金額	20,000	20,000	20,000	10,000
	金額（小計）		156,000	238,500	217,000	213,000
金 額（合計）		357,000	382,500	361,000	357,000	

(2) 久留米市地域福祉活動計画の推進

○くるめ支え合うプラン推進協議会

開催日時	内 容	備考
9 月 10 日 (金)	重層的支援体制整備事業の現状 くるめ支え合うプランの見直し(市再犯防止推進計画の策定)	書面会議
12 月 24 日 (金)	再犯防止に関する矯正施設との意見交換について 重層的支援体制整備事業について(ワークショップ)	
3 月 23 日 (水)	市再犯防止推進計画の策定について くるめ支え合うプランの進捗状況について	オンラインと集合 会議の同時開催

○くるめ支え合うプランの周知

内容	周知方法
ホームページでの公開	・ 本会や市の公式ホームページで常時公開
冊子及び概要版の活用	・ 地域の様々な会議等での説明 (説明会) ・ 校区福祉活動計画の策定支援を行う中での説明

○校区福祉活動計画策定支援

支援内容	策定済	
	令和 2 年度迄	令和 3 年度迄
・ 地域の様々な会議等での説明 (説明会の実施) ・ 校区福祉活動策定時におけるオブザーバー参加	1 校区	8 校区

(3) 地域福祉活動推進事業

○久留米市社会福祉大会

	内 容
日 時	11月2日(火) 13時30分～15時
会 場	文化センター 共同ホール
参加者	約150人
内 容	式典 ・久留米市社会福祉協議会顕彰 久留米市長顕彰 久留米市社会福祉協議会会長顕彰 ・福岡県共同募金会久留米市支会顕彰 久留米市長顕彰 久留米市支会会長顕彰 ・大会宣言、実践申し合わせ事項 他

○校区社会福祉協議会連合会等支援

	内 容
会長会	1回(6月/書面)
幹事会	5回(5月、8月、11月、1月、3月)
ブロック会議	4回(4月、7月(一部のブロックのみ)、9月、12月)
視察研修会	1回
ブロック別 学習会	1回(中央、東、西、南、北ブロックで10月に実施)
歳末たすけあい 街頭募金	12月11日(西鉄久留米バスセンターにて実施)
補助金説明会	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
役員基礎 セミナー	新型コロナウイルス感染症の影響により中止

○久留米市校区社会福祉協議会連合会活動状況

会議・事業	期 日	内 容
会計監査	4月6日	・令和2年度会計監査
ブロック会議	4月	・ブロック代表者の選出について ・令和3年度事業計画（素案）・予算（素案）について意見集約
幹事会	5月17日	・令和2年度久留米市校区社会福祉協議会連合会事業報告 ・決算報告 ・令和3年度校区社会福祉協議会連合会事業計画（案） ・予算（案） ・校区社会福祉協議会連合会会長及び副会長の互選 ・校区社会福祉協議会連合会監事の推薦 ・他団体への委員の推薦
会長会 （総会/書面）	6月17日	・校区社会福祉協議会会長の交代について ・令和3年度久留米市校区社会福祉協議会連合会役員について ・各種団体の委員等の選出について ・令和2年度事業報告・決算報告及び監査報告について ・令和3年事業計画（案）・予算（案）について ・久留米市校区社会福祉協議会連合会会則改正案について
ブロック会議	7月、8月	・ブロック代表者の選出について（欠員補充） （中央ブロック） ・幹事会の報告 （南ブロック）
幹事会	8月18日	・各ブロック会議の報告 ・令和3年度校区社協連合会事業について ①ブロック別学習会（ふれあいの会等との交流学習会） ②視察研修会 ③ブロック研修会（多様な団体等との交流学習会） ・第49回久留米市社会福祉大会における共催について ・第49回久留米市社会福祉大会における顕彰候補者の推薦 について ①校区社協会長の推薦について ②優良校区社協の推薦について
ブロック会議	9月、10月	・2022年カレンダー印刷業者見積合わせの結果 ・ブロック別学習会（ふれあい会等との交流学習会） ・令和3年校区社会福祉協議会連合会事業について ①視察研修会 ②ブロック別交流学習会（多様な団体等との交流学習会）

会議・事業	期 日	内 容
学習会	10月	・ふれあいの会等との交流学習会 久留米市障害者基幹相談支援センターの取り組みについて
幹事会	11月16日	・久留米セーフコミュニティ推進協議会委員の推薦について ・各ブロック会議の報告 ・ブロック別交流学習会のアンケート集計結果
視察研修会	11月30日	・ホームレス自立支援センター見学 ・理事長 奥田 知志氏による講演会
ブロック会議	12月、1月	・11月幹事会について ・視察研修会について ・歳末たすけあい街頭募金について ・ブロック別交流学習会（多様な団体等との交流学習会） ・令和4年度校区社会福祉協議会連合会事業について
幹事会	1月20日	・各ブロック会議の報告 ・令和3年度事業の進捗状況について ・令和4年度事業計画（素案）について ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う活動自粛について
幹事会	3月22日	・会長学習会について ・令和3年度校区社会福祉協議会連合会事業報告（案）・決算見込について ・久留米市人権啓発推進協議会代表者及び専門部会員の推薦 ・久留米市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員の推薦 ・令和4年度事業計画（素案）、予算（素案）について

(4) ふれあいのまちづくり事業

○地域活動コーディネーター及び生活支援コーディネーターによる地域への支援

活 動 項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
コーディネーター数	11人 (内、生活C011人)	11人 (内、生活C011人)	11人 (内、生活C011人)
社協及びふれあいの会等	46校区 257回	46校区 199回	38校区 164回
サロン・食事会等の交流会出席	36校区 125回	15校区 20回	10校区 20回
ボランティアスクール・学習会等支援	35校区 110回	39校区 91回	26校区 53回
民生委員協議会・各種会議等	35地区 171回	35地区 175回	36地区 183回
地域包括支援センターとの会議 関係機関との連携会議	248回	308回	172回

○地域における小地域ネットワーク活動状況

項 目	内 容
サロンサポーターの活動実績	1班：西部地区「久レヨン」 11人 実践活動 4回 2班：中央地区「はっぴい〜会」 6人 実践活動 2回 3班：東部地区「こすもす隊」 14人 実践活動 11回 延17回
ふれあい・いきいきサロン 設置支援	サロン新規立ち上げ（3校区 3か所） 60,000円
子どもの遊び場遊具整備事業	10校区 17か所 35件 2,312,392円 賠償責任保険料 159,500円

(5) 生活支援体制整備事業

○「支え合い推進会議」の啓発・取組状況

活 動 項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
取組みのための啓発説明会	24校区 57回	21校区 31回	10校区 11回
支え合い推進会議設置校区	37/46校区	44/46校区	45/46校区
支え合い推進会議への参加 (事前打ち合わせを含む)	36校区 413回	41校区 342回	43校区 265回

○多機関協働事業取組

活 動 項 目	令和3年度
支援プランの作成	3件
重層的支援会議の開催	7回
支援会議(縮小版支援会議)の開催	22回

○アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

活 動 項 目	令和3年度
支援プランの作成	8件
支援会議(縮小版支援会議)への持ち込み	16回

(6) 福祉教育の推進

○福祉協力校の状況

項 目	内 容
指定状況	指定継続校（90,000 円、2～3 年目） 4 校（中学校 4） 指定延長校（45,000 円、4～11 年目） 14 校（小学校 10、中学校 3、保育園 1）1 校辞退 合計 18 校
社会福祉協力校 連絡会	1 月 14 日（金） 27 校出席 事務連絡および、困窮者支援、緊急小口資金について
福祉教育指導者 講習会	新型コロナウイルス感染症の影響により中止

○福祉教育教材の配布

福祉教育教材の 配布	市内小学 4 年生を対象に福祉教育教材「ともに生きる」を 市内小学校 48 校（特別支援学校含む）に 3,215 冊配布
---------------	---

○地域に根差した福祉教育

新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

○福祉学習等支援状況

小学校や中学校へのゲストティーチャー調整 22 校 44 件

学習テーマ	学校名・日程
車イス利用者をゲスト ティーチャーとして調整	金島小学校 6 月 2 日（水）
	篠山小学校 9 月 29 日（水）
	合川小学校 10 月 1 日（金）
	荘島小学校 10 月 4 日（月）
	津福小学校 10 月 19 日（火）
	安武小学校 10 月 28 日（木）
	宮ノ陣小学校 10 月 28 日（木）
	大善寺小学校 11 月 1 日（月）
	鳥飼小学校 11 月 9 日（火）
	青木小学校 11 月 10 日（水）
	上津小学校 11 月 11 日（木）
	南薫小学校 11 月 26 日（金）
	長門石小学校 12 月 3 日（金）

学習テーマ	学校名・日程
視覚障害者をゲストティーチャーとして調整	金島小学校 6月 9日 (水) 弓削小学校 6月 15日 (火) 弓削小学校 6月 22日 (火) 荘島小学校 9月 27日 (月) 合川小学校 10月 4日 (月) 篠山小学校 10月 12日 (火) 東国分小学校 10月 12日 (火) 南小学校 10月 13日 (水) 津福小学校 10月 19日 (火) 田主丸小学校 10月 25日 (月) 宮ノ陣小学校 10月 26日 (火) 西国分小学校 10月 28日 (木) 安武小学校 11月 10日 (水) 上津小学校 11月 11日 (木) 大善寺小学校 11月 15日 (月) 大城小学校 11月 16日 (火) 鳥飼小学校 11月 19日 (金) 山川小学校 11月 24日 (水) 船越小学校 12月 8日 (水) 長門石小学校 12月 10日 (金) 高牟礼中学校 2月 24日 (木)
聴覚障害者及び手話通訳者をゲストティーチャーとして調整	金島小学校 6月 21日 (月) 合川小学校 10月 5日 (火) 荘島小学校 10月 7日 (木) 安武小学校 11月 2日 (火) 青木小学校 11月 9日 (火) 大城小学校 11月 9日 (火) 上津小学校 11月 10日 (水) 大善寺小学校 11月 19日 (金) 山川小学校 11月 26日 (金) 長門石小学校 12月 1日 (水)
市社協職員のみで対応した学習会 (車いす体験等障害学習)	犬塚小学校 10月 20日 (木)

○ゲストティーチャー意見交換会

日 時	内 容
2月3日(木) 10時30分～ 12時00分	場 所：久留米市総合福祉センター 大会議室 オンライン Zoom ミーティング 参 加 者：6人 内 容：意見交換及び今後のゲストティーチャー活動について

○障害者ボランティア養成講座

他団体主催事業への協力（講師派遣）

日 時	内 容
3月21日(月) 10時00分～ 10時40分	場 所：オンライン Zoom ミーティング 対 象 者：障害者ボランティアに関心のある方 どなたでも 15名 内 容：「基礎講座：ボランティアとは」 主 催：医療法人コミュニテ風と虹

(7) ボランティアセンター運営事業

○ボランティア相談・ボランティア活動保険等 (単位：件、人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ボランティア登録件数	14	63	73
ボランティア相談会（ブース出展含む）	1	1	1
相談件数	110	72	73
マッチング件数	75	49	58
ボランティア活動保険加入人数	4,624	4,044	3,725
ボランティア保険事故件数	11	1	5

○ボランティアセンター運営委員会（委員会及び視察研修）

新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

○ボランティアセンター情報紙「まれっと」の発行

日 時	内 容
隔月発行（奇数月） 年5回	5月、7月、11月、1月、3月発行（各500部） 9月発行予定分は災害VC対応のため臨時休刊 公共施設、ボランティア団体、相談者、希望する個人等へ 送付

○サロンレクリエーションサポータースキルアップ講座

新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

○要約筆記者養成講座（前期）

日 時	内 容
令和3年11月6日～ 令和4年3月26日	全20回 受講者7人

○ボランティア入門講座

新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

○ボランティア活動体験（ちょいボラ）

ボランティア活動参加のきっかけづくり、気軽に参加できる活動を開始

期間	内容	参加人数
令和3年 12月20日 令和4年 1月24日 2月28日 3月22日	ペットボトルキャップ 使用済み切手の仕分け作業	延べ32人

○学生ボランティア養成講座及び活動体験

中高生のボランティア活動参加のきっかけづくり、障害者への理解促進を目的に開催

日 時	内 容
3 月 28 日 (月) 9 時 00 分～ 16 時 30 分	令和 3 年度 中高生ボランティア体験講座 対 象 者：中学生・高校生 (参加 12 人) 内 容：聴覚障害についての理解 手話教室 ボランティア体験 聴覚障害児との交流 場 所：久留米聴覚特別支援学校 協 力：聴覚障害教育支援 NPO 法人言葉の森くるめ
3 月 29 日 (火) 8 時 30 分～ 17 時 00 分	屋外研修 内 容：聴覚障害児とボランティアのペア行動 障害児との交流とサポート体験 場 所：鯛生金山 (大分県日田市) 参加人数：聴覚障害児 11 人 中高生 12 人 協 力：聴覚障害教育支援 NPO 法人言葉の森くるめ

○ボランティアフェスティバル支援

(ボランティアフェスティバル実行委員会主催)

日 時	内 容
3 月 6 日 (日) 10 時～ 15 時 30 分	第 43 回久留米市ボランティアフェスティバル 場 所：オンライン YouTube を活用したライブ配信、後日閲覧可能 参加者：約 200 人 (YouTube) ※当日参加 内 容：講演 吉村春生氏 (西九州大学 非常勤講師) 中野義文氏 (北陵高校 教頭) 救急法実演 日赤安全普及会 聖マリア学院大学学生ボランティア 介護技術披露 筑水高校 社会福祉科 作業所紹介 ボランティア団体活動紹介 等

○生活困窮者への食糧支援

1. 「フードバンクくるめ」との連携による食糧支援

フードバンクくるめより提供を受けた食糧支援セット（米 2 kg、缶詰、レトルト食品など）を特例貸付や生活困窮に関する相談に来た人（世帯）に提供しました。

期間	提供件数
通年	28 件

※内訳

品目	数量	品目	数量
白米（2 kg）	28 個（56 kg）	レトルト食品	144 袋
パックご飯	9 セット	麺類	146 個
アルファ米	28 個	副食	120 個
缶詰	136 缶	嗜好品	117 個

2. 生鮮食品（野菜）ロス対策としての農福連携および食糧マッチング

期間	回数	内容	対応者
令和 4 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日	週 1～2 回	寄付物品の受け入れと 支援団体等への提供 ・規格外の野菜 ・選別作業時の傷物 ・直売所での売れ残り など	・社協職員
	年 3 回	規格外の野菜の収穫	・ボランティア ・地域活動支援 センターⅢ型

3. ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業（厚生労働省補助事業）の活用

期間	令和 4 年 3 月 18 日～令和 4 年 3 月 31 日
支援内容	粉ミルク（大缶）の配布
支援先	市社会福祉協議会と連携して活動を行っている市内の団体等 ・困窮者支援団体 ・フードドライブ・フードバンク実施団体など 計 5 団体

4. フードドライブ等活動団体・生活困窮者支援団体等との意見交換会

日時	令和4年1月17日 14:00～15:30
参加団体	市社会福祉協議会と連携して活動を行っている市内の団体等 ・ 困窮者支援団体 ・ フードドライブ・フードバンク実施団体 ・ 久留米市関係部局 など 計 14 団体、15 名
協議内容	各団体の活動状況の共有 生鮮食品の提供に関する連絡調整について 市社会福祉協議会からの情報提供

5. 令和3年度 福岡県生鮮食品ロス対応体制の構築事業「生鮮食品ロス対応体制構築指針検討会」への参加

日時	内容
令和3年9月9日	第1回検討会 ・ 検討会説明 ・ 事例発表（久留米市、八女市） ・ 課題・留意事項について ・ 意見交換
令和4年1月13日	第2回検討会 ・ 先進事例報告 ・ 生鮮食品ロス削減活動の手引き案について
令和4年3月23日	第3回検討会 ・ 先進事例報告 ・ 生鮮食品ロス削減活動の手引き案について

(8) 災害ボランティア活動の推進

○災害ボランティアセンターの設置・運営

	内 容
設置期間	8月17日(火)～9月18日(土) 33日間
活動対象と支援内容	主に床上浸水の方を対象に、生活環境の回復に必要な支援
活動内容	① 対象者の把握 ② 支援が必要な方のニーズ把握 ③ ボランティア活動を行いたい方の募集と受け入れ ④ 要望に基づくボランティア派遣
主なニーズと作業内容	① 濡れた畳上げ、家財の運び出し、室内の清掃 ② 処分品(電化製品や家具等)の運び出し ③ 床下の水抜き、清掃
ニーズ受付と処理状況	① 受付件数：150件 (内訳：鳥飼101件、城島31件、北野3件、長門石5件、 田主丸1件、下田2件、江上1件、犬塚2件、 浮島1件、三潯3件) ② 活動件数：138件 ③ 取下げ件数：12件
ボランティア数	延べ 493人、32団体

○災害ボランティアセンター振り返り研修会

日 時	内 容
10月18日(月)～ 20日(水)	場 所：市総合福祉センター及び長門石校区コミュニティセンター 参 加 者：延べ98人 (参加内訳) 市社会福祉協議会、福岡県社会福祉協議会 久留米市(環境部、協働推進課、等) 外部支援組織(ハッシュ井、camp、等) 18日60人、19日18人、20日20人 内 容：近年の災害ボランティアセンター運営について改めて協議し、今後の災害支援活動に活かすための検証。
12月13日(月)	場 所：市総合福祉センター 参 加 者：15人(市社会福祉協議会、福岡県社会福祉協議会 久留米市) 内 容：前記の検証に基づき災害ボランティアセンター設置運営マニュアル、協定等の見直しについて協議

(9) 福祉総合相談事業

○相談区分別、月別ふれあい福祉相談カード提出実績

NO	相談区分	(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1	在宅福祉・介護		10	8	6	4	6	1	2	2	5	5	9	0	58
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	介護保険		8	0	5	0	3	2	7	4	15	9	6	0	59
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	健康・保健医療		7	4	5	7	3	1	1	2	4	7	3	3	47
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	子育て・母子保健		2	0	0	0	2	3	0	0	0	0	2	0	9
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	子どもの地域生活		31	29	36	29	11	28	33	0	28	20	26	0	271
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	子どもの教育・学校生活		5	1	1	0	1	2	1	0	3	0	2	0	16
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	生活費		3	1	8	6	2	5	0	4	6	3	1	0	39
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	年金・保険		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	仕事・就職		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	家族関係		2	5	2	1	8	8	1	2	1	1	4	0	35
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	住居		3	2	0	2	3	1	2	3	1	1	0	0	18
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	生活環境		11	9	1	1	3	10	8	6	10	3	13	1	76
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	日常的な支援		31	28	26	12	12	14	12	5	22	18	19	1	200
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	その他		44	49	60	34	66	48	68	14	39	38	25	7	492
			3	2	2	8	9	5	6	8	5	7	5	5	65
合 計			157	136	150	96	120	123	135	42	134	105	111	14	1,323
			3	2	2	8	9	5	6	8	5	7	5	5	65

※ 上段:全体取扱数 下段:ふれあい福祉相談室(総合福祉センター内)取扱数

○ふれあい福祉相談員研修会開催実績

期 日	内 容
令和3年12月 以降随時	新型コロナウイルス感染症の影響により集合研修を中止。 代替として希望地区に研修資料を配布。もしくは、各地区で説明を実施。 【実績】 ○資料配布…12地区 ○説明実施地区…5地区 <内容> ・ふれあい福祉相談事業について ・社協が行う、その他の相談支援事業について

(10) 日常生活自立支援事業

○利用者数

(単位：人)

区分	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	合 計	生活保護 受給者	預かり	
						貸金庫	社協
人数	67	17	67	151	114	31	151

○年度別利用者数（年度末利用者数）

(単位：人)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人数	164	163	156	151

○相談援助件数（問い合わせ・相談援助件数）

(単位：件)

内 容		本事業の利用に関するもの				その他	合 計
事 項	対象者	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明・ その他		
	問合せ件数 (制度・事業について)	75	6	39	0	0	120
	初回相談件数 (初回相談受付)	13	2	14	0		29
	相談援助件数 (上記以外)	1,473	714	4,095	0		6,282
	合 計	1,561	722	4,148	0	0	6,431

○契約締結件数

(単位：人)

対象者		認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他	合 計	生活保護 受給者 (再掲)
事 項	契 約 者 数	12	0	7	0	19	17
	在 宅	1	0	6	0	7	6
	施 設	10	0	0	0	10	10
	病 院	0	0	0	0	0	0
	グループホーム	1	0	1	0	2	1

○解約件数

(単位：人)

対象者		認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他	合 計
事 項						
合 計		11	0	13	0	24

(11) 生活福祉資金貸付事業

○申請額及び決定額

(単位：件、円)

区 分		申 請 額		決 定 額	
		件数	金 額	件数	金 額
総合支援資金	生活支援費	0	0	0	0
	住宅入居費	0	0	0	0
	一時生活再建費	0	0	0	0
福祉資金	福祉費	32	6,965,000	33	6,956,000
	緊急小口資金	10	960,000	9	860,000
教育支援資金	教育支援費	37	10,476,000	36	10,086,000
	就学支度費	38	13,717,000	38	13,724,000
不動産担保型生活資金		0	0	0	0
臨時特例つなぎ資金		0	0	0	0
緊急小口資金特例【新型コロナ】	相談件数	1,511	204,630,000	1,506	204,030,000
総合支援資金特例【新型コロナ】	4,958	3,153	1,643,850,000	2,752	1,444,370,000
合 計		4,781	1,880,598,000	4,374	1,680,026,000

○年度別貸付決定件数

(単位：件)

区 分		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
総合支援資金	生活支援費	3	5	0	0
	住宅入居費	0	0	0	0
	一時生活再建費	1	0	0	0
福祉資金	福祉費	28	30	15	33
	緊急小口資金	18	21	24	9
教育支援資金	教育支援費	32	20	28	36
	就学支度費	38	18	28	38
不動産担保型生活資金		0	0	1	0
臨時特例つなぎ資金		0	1	0	0
緊急小口資金特例【H30.7 豪雨災害】		3	-	-	-
緊急小口資金特例【R2.7 月豪雨災害】		-	-	1	-
緊急小口資金特例【新型コロナ】		-	41	2,791	1,506
総合支援資金特例【新型コロナ】		-	-	3,666	2,752
合 計		123	136	6,554	4,374

(12) 福祉人材バンク事業

○求職状況年度推移

(単位：人)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
新規求職者数	44	63	59	77
有効求職者数	12	16	14	23

○求人状況年度推移

(単位：人、件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
新規求人件数	416	670	686	689
新規求人数	979	1,559	1,527	1,524
新規求人施設数	126	209	250	231
有効求人件数	1,180	1,763	1,889	1,912
有効求人数	2,774	4,128	4,171	4,188
有効求人施設数	318	509	595	579
求人応募者数	1	2	2	1
紹介採用人数	3	5	6	10

○相談状況年度推移

(単位：人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
求 人	781	720	895	744
求 職	107	130	125	187
計	888	850	1,020	931

○65歳以上の年度別状況

(単位：人)

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
相談件数	男	1	4	4	0
	女	0	1	0	2
	計	1	5	4	2
求 職	男	1	2	2	0
	女	0	0	0	1
	計	1	2	2	1
求 人	求人件数	0	0	0	0
	求人数	0	0	0	0
紹介数	男	1	1	0	0
	女	0	0	0	0
	計	0	1	0	0
就職数	男	1	1	0	0
	女	0	0	0	0
	計	1	1	0	0

○啓発・広報事業実績

(福祉入門講座)

目的：社会福祉に関する理解と関心を高めると共に新たな福祉人材の育成を図る。

実施主体：筑後地区福祉人材バンク（県社協からの受託事業）と域内市町村の該当する社会福祉協議会との共催とする。

実施内容：就職希望者・高校・大学生を対象とした「福祉関連事業所への就職につながる演題」及び一般の方を対象とした「身近な福祉」「わかりやすい福祉」「福祉の基礎知識の習得」等とする。

事業経費：1 講座 34,000 円、15 講座（510,000 円）を目安とする。

事業決算：4 講座 84,503 円

回数	開催社協／開催日／参加者	テーマ / 参加人数
4	久留米市社会福祉協議会 ① 5月中旬 【中止】 参加者：久留米学園高校 ② 6月4日（金） 参加者：県立大川樟風高校 ③ 7月5日（月）【基礎講座】 参加者：県立ありあけ新世高校 ④ 7月中旬 【中止】 参加者：柳川高校（2年生） ⑤ 12月6日（金）【応用講座】 参加者：県立ありあけ新世高校 ⑥ 12月9日（木） 参加者：大牟田高校 ⑦ 未定 【中止】 参加者：杉森高校 ⑧ 3月中旬 【中止】 参加者：柳川高校（1年生） 〔決算額：84,503 円〕	高校生を対象に「福祉関連職場の魅力・やりがい」（福祉に夢が持てるように）の講話を行い、介護職員と施設利用者との間で信頼関係を構築した職場の現状等を紹介し、福祉への関心を向上させる。 また、開催される高校の要望も踏まえて、手話・障害者福祉・児童福祉など様々なテーマを織り込む。 参加人数 ① 県立大川樟風学校 (計 20 人) ② 県立ありあけ新世高校【基礎】(計 27 人) ③ 県立ありあけ新世高校【応用】(計 18 人) ④ 大牟田高校 (計 24 人) (合計 89 人)

※今年度は、普通科高校にも福祉入門講座を広げるため学校と調整していたが、コロナ禍で思うように開催することが出来なかった。

(13) 生計困難者に対する相談支援事業

○「福岡ライフレスキュー事業」取組状況

取組状況	令和元年度	令和2年度	令和3年度
県事務局への 拠出金口数	30口 (300,000円)	30口 (300,000円)	30口 (300,000円)
支援対象件数	5件	2件	1件
支援金額合計	347,832円	104,347円	86,805円
サポーター研 修受講職員数 (相談員研修 受講職員数)	0人	0人	0人

○「ライフレスキュー久留米連絡会」取組状況

ライフレスキュー久留米連絡会

項 目	第1回	第2回	第3回
開催期日	8月18日 (水)	11月26日 (金)	3月25日 (金)
開催場所	—	市総合福祉センター	市総合福祉センター
参加法人数	—	◎法人 (34人)	◎法人 (12人)
	—	その他関係機関3名	その他関係機関3名
協議内容	1. 令和2年度事業報告 2. 連絡会役員の選出 3. 令和3年度事業計画提案 4. 連絡会会則改正について ※新型コロナウイルス感染 予防のため、書面決議	1. 地域資源BOOKの活用方法 検討 2. 困りごと調査からみえる 地域課題への対応検討 3. 実行部会の立ち上げにつ いて (部員募集)	1. 社会福祉連携推進法人制 度について 2. 県内の社会福祉法人連携 の現状について 3. 実行部会立ち上げ及び今 後の活動について

○福祉機器の貸出し状況

(単位：件)

福祉機器		平成30年度	平成元年度	令和2年度	令和3年度
車椅子	更新数	80	72	81	81
	新規貸出数	56	54	70	74
ベッド	更新数	69	58	71	61
	新規貸出数	8	17	6	10
エアマット	更新数	1	0	0	0
	新規貸出数	0	0	0	0
その他	更新数	10	5	7	4
	新規貸出数	9	13	9	7
合 計	更新数	160	135	159	146
	新規貸出数	74	84	85	91

○本所・支所の内訳

(単位：件)

	本 所			田主丸支所			北野支所			城島支所			三潁支所		
	更新	返却	新規	更新	返却	新規	更新	返却	新規	更新	返却	新規	更新	返却	新規
車椅子	69	49	44	7	20	20	3	6	5	2	1	2	0	1	3
ベッド	55	14	10	2	1	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0
エアマット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	2	2	1	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	127	65	56	10	26	25	5	6	5	4	1	2	0	1	1

(14) 成年後見センター運営事業

久留米市成年後見センター相談状況

○本人（相談対象者）の状況別相談件数

(単位:件)

区分	高齢者	知的障害者	精神障害者	不明その他	合計
件数	453	68	93	37	651

○相談者の内訳

(単位:件)

区 分	件数	区 分	件数	区 分	件数
本人	66	地域包括支援センター	35	障害者相談支援事業所	13
家族・親族	329	基幹相談支援センター	5	後見受任者	13
民生児童委員	2	司法関係	0	施設	19
行政関係	38	ケアマネジャー	25	他後見センター	1
知人・近隣者	13	医療関係	68	その他	24

○相談内容の内訳（複数可）

(単位:件)

区 分	件数	区 分	件数
成年後見制度に関すること	375	後見人活動に関すること	10
申立て手続きに関すること	425	権利侵害に関すること	0
申立人に関すること	4	研修等に関すること	4
後見人等に関すること	29	市長申立てに関すること	12
申立て・報酬費用に関すること	5	市民後見人に関すること	0
財産管理に関すること	27	その他	37
身上監護に関すること	1		

(15) 法人後見事業

○受任状況

(類型区分)

(単位:人)

区 分	平成 30 年度迄		令和元年度迄		令和 2 年度迄		令和 3 年度迄	
		内終了		内終了		内終了		内終了
成年後見	29	6	31	9	31	12	33	16
保 佐	8	0	8	4	8	5	9	6
補 助	1	1	1	1	1	1	1	1
合 計	38	7	40	14	40	18	43	23

(障害等区分)

(単位:人)

区 分	平成 30 年度迄		令和元年度迄		令和 2 年度迄		令和 3 年度迄	
		内終了		内終了		内終了		内終了
認 知 症	31	7	33	13	33	16	35	20
知的障害	4	0	4	1	4	1	5	1
精神障害	3	0	3	0	3	1	3	2
合 計	38	7	40	14	40	18	43	23

(16) 情報の発信

○「くるめ福祉」の発行

- ① 発行　　くるめ福祉（年４回）
- ② 配布先　　市内全世帯　（約 110,000 部）
- ③ 内容等

発行日	主な内容	各号共通内容
7/1 (179号)	令和２年度事業報告・決算報告 居場所「ここから」の紹介 くるめ災害支援ネット「ハッシュ#」の紹介 中高生ボランティア体験講座参加者募集 コロナ禍でもできることを	・ 寄付者一覧、寄付等紹介 ・ 福祉漫画 ・ 成年後見センター便り（181号まで） ・ 献血ちゃんコラム ・ 献血日程予定表 ・ アンケート募集 など
10/1 (180号)	赤い羽根共同募金 令和３年８月豪雨災害 つくってみよう！校区版支え合うプラン 各種講座案内 社会福祉大会開催案内	
1/1 (181号)	新年のあいさつ 地域でできるコロナ予防 社会福祉大会顕彰者一覧 居場所紹介（オープンスペースゆるか・総合福祉会館） あなたの声を聞かせてください（アウトリーチ事業） 若人は見た！社会福祉協議会の「姿」（実習生作成記事） 各種講座案内 ボランティアフェスティバル案内	
4/1 (182号)	令和４年度事業計画・資金収支予算 つながるスイッチ紹介 ボランティア活動保険の制度改定案内 赤十字運動月間へのご協力をお願い 赤い羽根共同募金特集 食糧支援のお礼・募集	

○ホームページアクセス数

	月別閲覧ページ数（延べ数）			月別訪問者数（延べ数）		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
4月	31,408	55,337	17,540	2,458	7,420	5,688
5月	34,929	51,514	79,298	2,465	8,626	18,592
6月	33,668	45,923	78,625	2,592	6,565	20,489
7月	41,443	287,481	57,645	5,318	37,229	10,061
8月	50,632	55,127	156,901	5,946	6,034	22,556
9月	43,846	43,727	63,056	4,982	4,329	12,350
10月	27,511	41,179	47,684	2,956	4,112	9,049
11月	27,762	34,073	43,206	2,643	3,553	7,856
12月	26,156	35,701	41,033	2,243	3,748	6,266
1月	29,088	33,828	44,156	2,593	4,864	7,821
2月	27,062	49,434	40,364	2,522	6,776	6,759
3月	37,392	46,523	37,753	3,614	6,122	4,874
総数	410,897	779,847	707,261	40,332	99,378	132,361
平均	34,241	64,987	58,938	3,361	8,282	11,030

※ページ数はサーバーログより
※訪問者数はGoogleAnalyticsより

令和3年度の閲覧の多いページ

- ①コロナ特例貸付の償還免除と償還開始について(R3.3.30)
- ②久留米市社会福祉協議会
- ③新型コロナウイルス感染症の影響による一時的な資金の緊急貸付について
- ④久留米市災害ボランティアセンター
- ⑤令和3年度 災害ボランティアの登録制度について

○フェイスブック … 投稿記事 181件（前年比32%減） 延べ閲覧数 85,502回（前年比31%減）

令和3年度の閲覧の多い記事

- ①災害ボランティアセンター活動開始(R3.8.18) 3,099回
- ②災害サポートレンタカーのご案内(R3.8.24) 2,082回
- ③災害ボランティア活動報告(R3.8.19) 2,066回
- ④第43回久留米市ボランティアフェスティバル開催案内(R4.3.6) 1,545回
- ⑤災害ボランティアセンター相談受付中(R3.8.17) 1,410回

○ツイッター … 投稿記事数 41件（前年度比51%減）

令和3年度の閲覧の多い記事

- ①献血日程変更(R3.5.13) 4,558回
- ②5月18日献血会の案内(R3.5.17) 5,293回
- ③8月25日、26日献血会の案内(R3.8.23) 4,399回

(17) 在宅福祉サービスの推進

○介護保険認定調査事業

(単位：件)

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
調査件数	4,671	4,301	2,471	2,640

○居宅介護支援事業

居宅サービス計画（ケアプラン）の作成等

(単位：人)

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象者数（月平均）	107	99	98	103

○介護予防支援事業

介護予防サービス計画（ケアプラン）の作成

(単位：人)

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象者数（月平均）	18	21	25	18

○訪問介護事業（ホームヘルパー派遣）

(単位：人、回)

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象者数（月平均）	21	17	14	17
回 数	4,048	2,924	2,089	2,442

○総合事業（訪問介護）（ホームヘルパー派遣）

(単位：人、回)

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象者数（月平均）	13	17	18	18
回 数	526	763	1,100	1,069

○通所介護事業

(単位：人、日)

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象者数（月平均）	51	49	52	58
延人数	8,420	8,165	8,598	9,495
開所日数	306	307	307	308
平均人数（1日当り）	28	27	28	31

○総合事業（通所）

(単位：人、日)

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象者数（月平均）	14	12	11	16
延人数	1,071	926	754	1,132
開所日数	306	307	307	308
平均人数（1日当り）	4	3	2	4

○障害福祉サービス事業（ホームヘルパー派遣）

(単位：人、回)

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象者数（月平均）	12	13	11	13
回 数	1,523	1,167	986	1,636

(18) 指定管理施設等の管理・運営

○福祉バス利用状況

(単位：人)

バス種別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
本所福祉バス (団体利用型)	6,494	4,790	157	219
田主丸福祉バス (巡回型)	23,031	17,386	9,103	2,733
北野老人いこいの家 送迎バス	391			
合 計	29,916	22,176	9,260	2,952

○施設利用状況

(単位：人)

施設名称	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総合福祉センター	9,113	7,291	4,879	4,976
総合福祉会館	73,901	68,617	30,296	26,701
田主丸老人福祉セン ター	33,768	28,540	19,764	16,380
三潁総合福祉センター	41,066	36,771	19,222	18,356
合 計	157,848	141,219	74,161	66,413

※新型コロナウイルス感染症の影響により一部臨時休館

(令和2年3月7日～令和2年5月25日)

(令和3年5月12日～令和3年6月20日)

(令和3年8月10日～令和3年9月30日)

○総合福祉会館事業実施状況

(単位：人)

事業名		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
訓練能 事業回 業復	機能回復訓練	243	2,726	222	2,425	190	1,797	174	1,571
事相 業談	機能回復訓練相談	相談数 65 件		相談数 56 件		相談数 43 件		相談数 34 件	
事主 業催	料理教室等	61	942	56	880	38	578	45	601

○田主丸老人福祉センター事業実施状況

(単位：回、人)

事業名		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
主催事業	薬草教室	12	208	10	205	10	170	6	129
	盆栽教室	19	207	16	163	16	137	8	52
	ボランティアクラブ	9	151	8	103	7	68	5	68
	絵画教室	20	343	18	329	17	178	11	142
	押花教室	19	246	18	235	17	162	11	81
	竹工芸教室	19	333	16	292	14	176	11	166
	太極拳教室	20	187	19	284	16	167	10	121
	絵手紙教室	20	378	19	342	18	327	11	182
	詩吟教室	20	328	19	289	16	173	11	146
	健康音楽教室	12	376	16	363	20	428	15	271
	もの作り教室							10	85
	ますます健康大学							7	140
	実用ペン習字教室							16	226
	はじめてのヨガ教室							16	199
	フクロウ会（折り紙）			3	50	9	158	8	122
	お話し会							6	70
	楽し ^{まる} 〇カフェ	12	486	11	541				
共催事業	ダーツ定例会							8	136
	シルバーいきいき学級			15	306	8	146	主催事業開始に伴い廃止	
事相業談	老人健康相談	12	205	11	145	10	114	6	51
事送業迎	利用者送迎	183便	1, 297	168便	1, 052	113便	421	96便	391

○三潞総合福祉センター事業実施状況

(単位：回、人)

事業名		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
子育て支援事業	ベビーマッサージ	12	302	10	315	10	209	8	92
	子育てサロン	12	269	10	135	8	79	8	51
	育児相談	相談数 12件		相談数 5件		相談数 3件		相談数 3件	
	料理教室	3	32	3	80	0	0	0	0
生きがい事業	手芸教室	24	195			20	165	17	152
	折り紙教室	13	256	11	200	10	145	9	121
	塗り絵教室	24	163	21	155	20	187	17	136
	筆ペン教室	24	798	24	692	19	489	17	410
健康づくり事業	健康体操	24	669	21	601	3	58	0	0
	日曜健康体操	12	315	11	229	1	13	0	0
	フラダンス教室	24	520	21	512	16	264	18	255
	健康づくり事業	3	120	5	177	3	53	2	42
	太極拳			22	309	18	128	18	144
	食と体の健康事業	12	445	23	522	0	0	0	0
予防事業 認知症	イキイキ脳トレ 貯筋運動	24	388	21	355	19	270	16	231
	脳と身体の体操					4	34	5	54
広報事業 (ゆうゆうだより)		4	6,050 部/回	4	6,000 部/回	4	6,000 部/回	4	6,000 部/回
利用者送迎事業		255		42		15		0	
憩い事業 (季節のお風呂)		4, 6, 7, 8, 9, 10, 11月(計7回)							

(19) 共同募金配分金事業

①一般共同募金配分金事業

事業	内 容	金額 (円)
校区社協活動支援	校区社会福祉協議会活動費 (前年度校区実績額の50%相当額+40,000円)	30,005,000
	訪問活動支援事業	3,525,000
	サロン運営事業補助	1,487,000
ボランティア及び 福祉団体等補助	はーとふる補助 (4団体)	550,000
	社協構成7団体補助 (4団体)	1,376,000
	一般補助 (26団体)	1,270,000
	設立補助対象新規団体	0
	ボラ連 (1団体)	300,000
社協広報事業 (共同募金充当額)	広報紙「くるめ福祉」年4回発行 ホームページ改定・保守点検	2,291,622
災害ボランティアセンター 運営研修	災害ボランティアセンターの運営やマニュアル の見直しのための研修会の実施	316,600
校区社協活動の手引き作成	新たに校区社協会長等になられた人向けの 手引き (学習用資料) の作成	292,017
福祉活動事例集作成	校区独自の活動事例を可視化したり情報提供 したりするための冊子の作成	595,788
合 計		42,009,027

②歳末たすけあい配分金事業

事業	内 容	金額 (円)
校区社協活動支援	校区社会福祉協議会活動費 (今年度校区実績額の50%相当額)	7,737,017
	食事サービス事業補助	4,880,000
	サロン運営事業補助	2,420,000
	いのちのボタン事業等	361,071
路上生活者支援事業	NPOホームレス支援久留米越冬活動の会補助	300,000
合 計		15,698,088

(20) 共同募金・日本赤十字事業への協力

○共同募金会久留米市支会年度別実績額

(単位：円)

区 分		平成30年度 一般募金運動期間 (10/1～12/31)	令和元年度 一般募金運動期間 (10/1～12/31)	令和2年度 一般募金運動期間 (10/1～12/31)	令和3年度 一般募金運動期間 (10/1～12/31)
赤い羽根一般募金		57,195,382	57,724,451	56,901,810	57,264,911
内訳	戸別募金	40,634,580	41,101,621	40,662,877	41,432,863
	法人募金	7,864,986	7,876,150	7,615,040	7,771,603
	個人募金	3,932,532	3,782,554	4,148,938	3,722,441
	その他の募金	4,763,284	4,964,126	4,474,955	4,338,004
歳末たすけあい募金		15,487,138	15,775,960	15,769,865	15,607,811
合 計		72,682,520	73,500,411	72,671,675	72,872,722

○日本赤十字活動資金募集実績額

(単位：円)

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目 標 額		25,700,000	25,718,000	24,576,000	24,586,000
実 績 総 額		33,340,049	35,048,108	31,689,581	32,138,609
内訳	会 費	28,690,849	29,275,108	28,808,681	28,879,609
	法 人 会 費	696,000	514,000	709,700	1,124,000
	高 額 寄 付 金	2,800,000	4,710,000	1,949,200	2,085,000
	事 務 局 受 入	1,153,200	549,000	222,000	50,000
目標額に対する割合		130%	136%	129%	131%

○世界赤十字デー奉仕活動実績数

(単位：人)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施奉仕団数	24	19	0	6
延べ人数	2,382	2,597	0	1,059

令和2年度：新型コロナウイルス感染症の影響により中止

令和3年度：実施期間を12月迄延長し実施

○赤十字講習会実施実績数

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施回数	救急法	1回	2回	1回	0回
	幼児安全法	3回	2回	3回	2回
	健康生活支援講習	10回	11回	5回	0回
受講者総数		473人	538人	212人	36人

救 急 法 : AEDの使い方、心肺蘇生法

幼 児 安 全 法 : 子供に起こりやすい事故への対処法

健康生活支援講習 : 災害時の対応、高齢者高齢者に起こりやすい事故の予防と手当

○災害救援物資配布実績数

(単位：件)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
火災見舞世帯（半焼・全焼）	7	11	22	13
水害見舞世帯（床上浸水）	201	72	172	240
その他世帯（震災避難）	0	0	0	0

※災害救援物資交付基準表

災害内容	毛布/タオルケット	タオルセット	救急セット	医薬品セット
全焼・全壊・流失	1人につき1枚	1世帯2組	1世帯1組	1世帯1組
半焼・半壊・床上浸水		1世帯1組		

※毛布：1～6月・10～12月／タオルケット：7～9月（令和2年度より）

○献血事業実施実績数

(単位：人)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備 考
地 域	3,159	2,979	3,345	3,162	校区34校区、56回、2,623人 ライオンズクラブ 6回、539人
職 域	3,123	2,984	3,629	2,891	官公庁、自衛隊、病院、企業等
学 域	1,309	1,286	534	686	久留米大学、久留米工業大学、南筑高校、久留米学園高校、祐誠高校、福岡県立浮羽工業高校、福岡県立三潁高校
合 計	7,591	7,249	7,508	6,739	